

整理番号	16-2	事務事業名	環境啓発推進事業		作成部署	市民環境部環境課	電話	内線768
事務区分	自治事務	法定受託事務	部長職名	滝本 明	課長職名	奥野 章	作成日	平成17年6月
事務事業開始年度	不明	根拠法令等	環境の保全のための意欲の増進及び環境教育の推進に関する法律、北広島環境基本条例					
〃 終了予定年度	-							
事務事業開始のきっかけ(導入当初の目的等)	様々な公害問題が発生し、また地球規模の環境破壊が進んでいるため、市民・事業者の環境問題に対する意識向上のため同事業を実施することとした。							

1 計画(プラン)

上位施策との関連(総合計画での位置付け)	章	環境と共生する快適なまち	(第 2 章)
	節	環境保全	(第 3 節)
	施策	パートナーシップと人づくり	(第 5 施策)
目的 (ここから成果指標を導きます)	対象 (誰、又は何を)	市民及び事業者	
	意図 (何をねらっているのか、対象をどのような状態にしたいのか)	環境保全に関する体験機会に参加してもらうことにより、環境についてともに学び、ともに行動できる人づくりを目指す。	
手段 (ここから活動指標を導きます)	市が行った(行う)事務事業の具体的な実施内容(団体補助等の場合はその補助金による団体の活動内容を記載)	16年度まで	<ul style="list-style-type: none"> 野鳥観察会の実施 エコクッキングの開催 ケナフ栽培事業の実施 環境啓発パンフレット(「北広島の自然」)の作成(平成12年度) 総合学習の対応
		17年度	<ul style="list-style-type: none"> 野鳥観察会の実施 エコクッキングの開催 ケナフ栽培事業の実施 総合学習の対応

2 実施(ドウ)

【事業費の推移】

(単位:千円)

区 分		15年度(決算)	16年度(決算)	17年度(予算)	18年度(予定)
直接事業費	国支出金				
	道支出金				
	地方債				
	その他特財			15	
	一般財源	137	133	140	156
	合計	137	133	155	156
人件費 (概算)	人数(年間)	0.10	0.10	0.10	0.10
	1人当り年間平均人件費	9,000	9,000	9,000	9,000
	= ×	900	900	900	900
総事業費 +		1,037	1,033	1,055	1,056

【事務事業を評価する指標(ものさし)】

指 標	指 標(算式)	指 標 値			
		15年度	16年度	17年度(目標)	18年度(目標)
活動指標 (事務事業の活動量や実績)	各種事業の開催数(日数)	7	7	7	7
	各種事業の参加者数	138	148	151	151
	総合学習の対応件数	13	10		
成果指標 (目的の達成度を測るものさし)	参加率(参加者数/募集数)	80.7%	86.5%	100.0%	100.0%
効率指標 (主要活動単位当たりコスト)	1事業当たりのコスト	148千円	148千円	151千円	151千円

3 評価(チェック)と改善(アクション)

事務事業を取り巻く社会環境の変化や今後の予測・他市町村の動向等	・今日の環境問題は、地域の問題から地球規模の問題まで非常に多岐にわたるものとなっているうえ、地球温暖化問題に代表されるように、温暖化ガスの排出者である市民・事業者・行政が原因者であると同時に、その影響を被る被害者になり得るという状況にあり、問題構造が複雑になっている。 ・他市町村においても、同様の環境啓発事業を実施している。
---------------------------------	--

【妥当性の評価と改善の方法等】

項目	判定	判定の説明や課題	改善の方法
行政関与の妥当性 【市が実施すべき事務事業ですか。市民・企業等での実施可能性はありませんか】	適切 改善の余地あり(改善の方法記入)	市民一人ひとりや個々の事業者が、環境に配慮した行動を実践できるようにするためには、環境問題を理解し、学ぶことが大切であり、その機会を市において提供する必要がある。	
目的の妥当性 【社会経済情勢や市民ニーズの変化などから、設定した対象や意図は妥当ですか】	適切 改善の余地あり(改善の方法記入)	様々な環境問題を解決していくためには、一人ひとりが環境問題を正しく認識し、環境にやさしい生活を実践していくことが大切であり、目的は適切である。	
手段の妥当性 【現在の手段は適切ですか。もっと効率的で有効な手法はありませんか】	適切 改善の余地あり(改善の方法記入)	環境に配慮した行動できるひとづくりをするために、市が率先して啓発活動を推進する必要がある。	
受益者負担の妥当性 【受益者負担の適正化の余地はありませんか】	適切 改善の余地あり(改善の方法記入) 該当しない	野鳥観察会におけるレクリエーション保険、ケナフの紙すき講座における教材費を徴収しているが徴収金額は適切である。	

【有効性と効率性の評価と改善の方法】

項目	判定	判定の説明や課題	改善の方法
有効性の評価 【意図した成果は上がっていますか】	十分成果が上がっている 概ね成果が上がっている あまり成果が上がっていない 成果が上がっていない	参加者が地球温暖化問題に関心を持つなど、事業実施により環境啓発を図ることができた。	
効率性の評価 【手法は効率的ですか。コスト削減の方法はありませんか】	十分効率的 概ね効率的 やや非効率 かなり非効率	人件費を除く事業費は、講師謝礼や需用費に充てられているが、その削減は困難である。	

【事務事業担当部局内優先度】

部局で所管するすべての事務事業の中で、この事務事業の位置づけはどの程度ですか

A B C

4 総合判定と今後の方向性

【1次評価】	判定	今後の方向性や改善方法など
事務事業担当部局の総合判定 【上記3の評価と改善を踏まえ、今後の方向性についての総合判定と改善方法等を記入】	拡大・重点化する 現状のまま継続する 見直しの上で継続する 統合する(検討含む) 縮小する(検討含む) 廃止・休止する(検討含む) 終了	今後も継続して環境学習の機会を提供するとともに、啓発事業から一歩進んだ「行動」へとつながる事業内容を検討する。 また、環境に関するパンフレット、ガイドブック等の学習資料の作成・配布を検討し、積極的な情報提供に努める。
【2次評価】	判定	今後の方向性等
行財政構造改革推進本部の総合判定	拡大・重点化する 現状のまま継続する 見直しの上で継続する 統合する(検討含む) 縮小する(検討含む) 廃止・休止する(検討含む) 終了	1次評価のとおり